

別紙 学校関係者評価委員による評価結果

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

評価項目	評価	評価項目	評価
(1) 教育課程・指導	A	(7) 教育目標・学校評価	B
(2) 保健管理	A	(8) 情報公開	B
(3) 安全管理	B	(9) 保護者・地域住民との連携	B
(4) 特別支援教育	B	(10) 子育て支援	B
(5) 組織運営	B	(11) 預かり保育	A
(6) 研修（資質向上の取り組み）	A	(12) 教育環境整備	B
総合的な評価	B		

(1) 教育課程・指導

- ・楽しく子どもたちが通っているので、幼稚園生活でしか経験できないことをたくさん経験させていただけたらと思います。
- ・父親参観、敬老参観は復活しないのか。また、参観の人数制限を2人に緩和してもよいのではないかな。
- ・自由参観の実施は非常にありがたい。
- ・小学校進学前に、交通ルールに関する指導を充実させてほしいとの意見があった。警察官を招いた講話や、園庭に疑似横断歩道や信号・標識を設置し、三輪車や徒歩による実践的な体験活動を行うことで、子どもの興味・理解を高める取り組みが期待されている。

(2) 保健管理

- ・園児へのお茶について、冷たいものや水の提供を検討してもらえないかな。
- ・裸足保育を続けてほしいが、子どもから「遊具が熱くて足が痛い」との訴えがある。

【園の対応】：安全と健康管理の観点から、日射の強い時間帯など遊具を使用する際には、靴を履くよう子どもたちに指導を行っています。

(3) 安全管理

- ・行事予定（カレンダー）をホームページに掲載しているが、防犯上の対策としてアプリ内だけでの配信に絞ってはどうか。

令和 8 年度 学校関係者評価委員会 評価報告書

【園の対応】：不特定多数への情報公開を制限するため、ホームページ上は簡易版のみの掲載に止めるなどの防犯対策を講じてまいります。

・正門のセキュリティ（解錠用暗証番号の管理等）に問題があるのではないかな。

【園の対応】：防犯レベルを維持するため、状況に応じて定期・不定期に暗証番号を変更するなどの対策を講じます。

・小学生低学年が歩道からはみ出して歩いたり、左右確認をせず横断歩道を渡る様子が見られるため、幼稚園段階からの交通安全教育の必要性が指摘された。交通安全に関する実践的な学習機会の充実が求められている。

(4) 特別支援教育

※本委員会において、該当する意見は出されませんでした。

(5) 組織運営

・おもらしの際、汚れた衣服を入れるビニール袋の運用を一つにまとめられないか。現状の細かな分別が、先生方の業務過多（負担）に繋がっていないか心配である。

・このまま明るい先生方の対応で子どもたちと接していただければ、保育も環境もとても良いと感じている。

・課外教室の講師と幼稚園教員との連携が十分とは言えないため、情報共有や連絡体制を強化してほしいとの意見があった。子どもの様子や指導方針について、関係者間での連携をより一層図る必要がある。

(6) 研修（資質向上の取り組み）

※本委員会において、該当する意見は出されませんでした。

(7) 教育目標・学校評価

※本委員会において、該当する意見は出されませんでした。

(8) 情報公開

・園からのお便りのペーパーレス化において、紙での配布とアプリでの通知が混同しているため、ジャンル分け（整理）を期待したい。また、配信後の訂正が多く、最終的な決定事項が分かりにくい。

・水遊びやどろんこ遊びなど、季節行事ごとに持ち物や説明のお知らせが都度届く。その都度ではなく、一目でわかるような「保存版（プリント 1 枚）」を事前に用意してはどうか。アプリの通知で「保存版を配布しました」とアナウンスすれば、何度も印刷・配信する手間が省けるのではないかな。

令和 8 年度 学校関係者評価委員会 評価報告書

(9) 保護者・地域住民との連携

- ・共働き世帯が増え、役員活動において仕事をされている方が多いため、保護者同士の LINE グループの立ち上げや参加について、園が間に入って（介入して）調整してもらえないか。
- ・茶話会などの保護者会行事の開催にあたり、園側で一定の介入やサポートをしてもらえないか。
- ・PTA 役員の選出や声掛けのアナウンスに関し、集会等に参加できない方との交渉を保護者（現役員）が直接行わなければならず負担が大きい。公平な選出方法を園が主導してほしい。
- ・共働きのため、運動会の日程が予備日と連続していると休みが取りづらい。予備日は翌週など、日にちをあけて設定できないか。
- ・園児が食べる給食の試食会があると良い（家庭では嫌がる野菜も、園では食べてくるため、どのような給食か知りたい）。
- ・交通安全指導に関して、警察官の協力を得るなど地域との連携を深めることが望ましいとの意見があった。

(10) 子育て支援

- ・未就園児教室（わんぱくくらぶ）の開催日数を増やしてほしい。特に 3 学期は、入園前の慣らしを目的とした「母子分離」の機会を増やしてほしい。また、バスドライブの機会があると非常に助かる。
- ・少子化等で園児数が減少している中、0～1 歳児の親子が多く集まる「名古屋市地域子育て支援拠点（ぶどうの樹、レモンの木など）」に、園の紹介チラシ等を置かせてもらうなどアピールをしてはどうか。園選びに迷っている方は非常に多いため、入園希望者の増加に繋がるのではないか。

(11) 預かり保育

※本委員会において、該当する意見は出されませんでした。

(12) 教育環境整備

※本委員会において、該当する意見は出されませんでした。